

精神看護学演習

ナンバリング:N3-S1-I03

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	3	区分/単位数	演習/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

精神保健上の問題を抱えている患者を、患者としてだけ見定めるのではなく、その人に固有の生活の背景や、家族と地域生活との関係において理解する。精神疾患をもつ患者の回復を助けるために必要な治療的援助関係をアセスメントし、看護師が自らケアを提供する手段や方法を事例を用いてわかり方を学修する。特に患者の生活史や家族背景、地域環境要因を把握し、患者の言動の持つ意味を多面的に理解できることによって、治療の場の構造や文化を看護に活用することを目指す。

・教育成果(アウトカム)

精神保健上の問題を抱える人を、固有の生活史、家族背景、地域環境との関係性の中で理解し、治療的人間関係のアセスメントを基盤としたケアを構想・実践する能力を身につけることができる。また、精神症状の理解にとどまらず、対象者の言動がもつ意味を多面的に捉えるとともに、学生自身の自己理解も踏まえ、自らをケアの資源として活用する看護実践の在り方を検討することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティーにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 精神保健上の問題を抱える人を、固有の生活史、家族背景、地域環境との関係から整理し、その人らしさを踏まえて説明することができる。
2. 精神症状や行動の特徴を、疾患特性に加えて、その人の体験や関係性の文脈を踏まえて多面的に解釈することができる。
3. 看護師—患者関係における相互作用を振り返り、関係性の特徴や課題をアセスメントとして言語化することができる。
4. 対象者の生きにくさやストレングス、ならびに治療の場(入院・地域)における構造・文化を踏まえ、回復を支える看護の視点を検討し、根拠をもって説明することができる。
5. 治療的人間関係のアセスメントを基盤として、対象者の主体性を尊重したケアを構想し、その意図を説明することができる。
6. 対象者とのかかわりを通して生じた自身の感情や価値観を振り返ることで自己理解を深めるとともに、自らをケアの資源として活用する精神看護実践の在り方について考察することができる。

・授業日程

【演習】

会場：マルチメディア教室、大堀記念講堂

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/2 木 3限	<p>【授業内容】 演習ガイダンス/実習記録の基礎 精神看護学概論、精神看護方法論で学修した内容と本科目のつながり、本演習の目的と学習方法を理解し、精神看護における「関係性」「自己理解」の基本的な捉え方および実習で用いる記録の意義と方法について学ぶ。 ・精神看護における関係性や自己理解の重要性を説明できる ・実習で用いる記録の目的を説明できる</p> <p>【関連するSBO】 1、2、3 【事後学修：60分】 学修要点シートに要点をまとめる (マルチメディア教室)</p>	地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師
4/8 水 3限	<p>【授業内容】 症状ならびに関係性のアセスメントと看護① 統合失調症患者のケア 統合失調症患者の事例を通して、症状・生活史・対人関係を統合的に捉える視点について学び、患者の言動に着目し、その意味を多面的に理解する視点と看護師―患者関係の特徴について検討する。 ・統合失調症患者を症状のみでなく生活史や関係性の中で捉える視点を説明できる ・統合失調症患者の症状ならびに有害反応などの観察ができ、それに応じた看護を考えることができる ・統合失調症患者の言動がもつ意味を多面的に捉え、看護師―患者関係の視点からアセスメントし、記載できる ・各ワークに参加し、記録やディスカッションを通して自身の考えや気づきを言語化し、表現できる</p> <p>【関連するSBO】 1、2、3、4、5 【事前学修：60分】 事例を確認して課題ワークシートに記載する(授業開始前までにWebClassに提出) (マルチメディア教室)</p>	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師
4/8 水 4限	<p>【授業内容】 症状ならびに関係性のアセスメントと看護① 統合失調症患者のケア 統合失調症患者の事例を通して、症状・生活史・対人関係を統合的に捉える視点について学び、患者の言動に着目し、その意味を多面的に理解する視点と看護師―患者関係の特徴について検討する。 ・統合失調症患者を症状のみでなく生活史や関係性の中で捉える視点を説明できる ・統合失調症患者の症状ならびに有害反応などの観察ができ、それに応じた看護を考えることができる ・統合失調症患者の言動がもつ意味を多面的に捉え、看護師―患者関係の視点からアセスメントし、記載できる ・各ワークに参加し、記録やディスカッションを通して自身の考えや気づきを言語化し、表現できる</p> <p>【関連するSBO】 1、2、3、4、5 【事後学修：60分】 学修要点シートに要点をまとめる (マルチメディア教室)</p>	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師
4/15 水 1限	<p>【授業内容】 症状ならびに関係性のアセスメントと看護② 気分障害患者のケア 気分障害患者の事例を通して、症状と対人関係の特徴、および関係性の揺れについて学ぶ。これまでに学修した診断と疾病分類に基づいた発病と回復のプロセスを活用し、対人関係に着目してアセスメントを行う。 ・気分障害患者を症状のみでなく生活史や関係性の中で捉える視点を説明できる ・気分障害患者の症状ならびに有害反応などの観察ができ、それに応じた看護を考えることができる ・気分障害患者との関係性を踏まえ、看護師のかかわり方について検討し、記載できる ・PTSD(心的外傷後ストレス障害)における看護のかかわり方について検討し、記載できる ・各ワークに参加し、記録やディスカッションを通して自身の考えや気づきを言語化し、表現できる</p> <p>【関連するSBO】 1、2、3、4、5 【事前学修：60分】 事例を確認して課題ワークシートに記載する(授業開始前までにWebClassに提出) (マルチメディア教室)</p>	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師

<p>4/15 水 2限</p>	<p>【授業内容】 症状ならびに関係性のアセスメントと看護② 気分障害患者のケア 気分障害患者の事例を通して、症状と対人関係の特徴、および関係性の揺れについて学ぶ。 これまでに学修した診断と疾病分類に基づいた発病と回復のプロセスを活用し、対人関係に着目してアセスメントを行う。 ・気分障害患者を症状のみでなく生活史や関係性の中で捉える視点を説明できる ・気分障害患者の症状ならびに有害反応などの観察ができ、それに応じた看護を考えることができる ・気分障害患者との関係性を踏まえ、看護師のかかわり方について検討し、記載できる ・PTSD(心的外傷後ストレス障害)における看護のかかわり方について検討し、記載できる ・積極的に各ワークに参加し、記録やディスカッションなどで自身の考えや気づきを表現できる</p> <p>【関連するSBO】 1、2、3、4、5 【事後学修:60分】 学修要点シートに要点をまとめる (マルチメディア教室)</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師</p>
<p>4/17 金 3限</p>	<p>【授業内容】 異和感を手がかりとした関係性のアセスメント(異和感の対自化とプロセスレコード) 異和感を手がかりとした関係性のアセスメントについて理解を深め、異和感の対自化シートならびにプロセスレコードを用いて、自身の感情や反応を振り返り、治療的人間関係のアセスメントに活用する方法を学ぶ。 ・異和感の対自化シートおよびプロセスレコードを記載できる ・異和感を関係性理解の手がかりとして活用する意義を説明できる ・自己の感情や反応を関係性のアセスメントに活用したかかわりを検討し、記載できる</p> <p>【関連するSBO】 2、4、6 【事前学修:60分】 教科書:系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開 第8章 「自己一致」「プロセスレコードの活用」「異和感の対自化を使う」を読み、プロセスレコードならびに異和感の対自化の題材となりそうな場面や感情を課題ワークシートに記載する(授業開始前までにWebClassに提出) (マルチメディア教室)</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師</p>
<p>4/17 金 4限</p>	<p>【授業内容】 異和感を手がかりとした関係性のアセスメント(異和感の対自化とプロセスレコード) 異和感を手がかりとした関係性のアセスメントについて理解を深め、異和感の対自化シートならびにプロセスレコードを用いて、自身の感情や反応を振り返り、治療的人間関係のアセスメントに活用する方法を学ぶ。 ・異和感の対自化シートおよびプロセスレコードを記載できる ・異和感を関係性理解の手がかりとして活用する意義を説明できる ・自己の感情や反応を関係性のアセスメントに活用したかかわりを検討し、記載できる</p> <p>【関連するSBO】 2、4、6 【事後学修:60分】 学修要点シートに要点をまとめる (マルチメディア教室)</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師</p>
<p>4/23 木 3限</p>	<p>【授業内容】 自己一致を活用したかかわり(グループワーク) 他者とのかかわりにおいて生じる感情が相互作用としてどのように関係性に影響するかを振り返り、考察する。自身の経験を題材に、自分自身をケアの資源として活用する看護の在り方を検討する。 ・感情がもたらす相互作用や取り巻く環境と治療的人間関係との関連について説明できる ・自分自身をケアの資源として活用することの意味を説明できる ・自分自身をケアの資源として活用するかかわり方を検討し、記載できる。</p> <p>【関連するSBO】 1、2、3、5、6 【事前学修:60分】 WebClassのプロセスレコード、異和感の対自化の記載例、感情一覧表を確認し、異和感の対自化シートに記載する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修:60分】 事後課題シートに記載する(WebClassに提出)、学修要点シートに要点をまとめる (マルチメディア教室)</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師</p>
<p>5/14 木 2限</p>	<p>【授業内容】 入院および地域における看護の実際(病棟・訪問看護スタッフ(指導補助者)による講義) 病棟や地域における看護師の実際のかかわりを学び、多職種連携の必要性や看護の機能と役割を理解する。 ・退院支援に向けた看護師の役割について述べるができる ・地域における精神看護の役割について述べるができる ・地域移行に向けた多職種連携の必要性について述べるができる ・病院と地域における連携の在り方について、自身の考えを述べるができる</p> <p>【関連するSBO】 1、2、4、5 【事前学修:30分】 課題ワークシートへの記載する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後課題:30分】 学修要点シートに要点をまとめる (マルチメディア教室)</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師</p>

<p>5/20 水 2限</p>	<p>【授業内容】 精神疾患を抱える当事者・家族への看護(グループワーク) 当事者および当事者家族の体験談を踏まえ、当事者・当事者家族への看護について再考し、自分の看護観を深める。 ・当事者および家族(ゲストスピーカー)の体験から、入院や地域での専門職としてのかかわりを再考し、看護師の役割や課題を述べるができる ・自身の看護観を深め、言語化できる</p> <p>【関連するSBO】 1、2、3、4、5、6 【事前学修:30分】 キーワードについて調べて課題ワークシートに記載する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修:30分】 学修要点シートに要点をまとめる (マルチメディア教室)</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師</p>
<p>5/20 水 3限</p>	<p>【授業内容】 精神疾患を持つ患者への看護とかかわり① 事例を用いて、急性期状態にある患者の症状の観察や看護師の対応について、個人ワークおよびグループワークで検討する。グループワークの内容はICTの活用や発表などで、全体での共有を図る。 ・急性期にある患者の症状や行動を観察し、看護師の対応との関連からアセスメントできる ・患者の背景、ストレス、生きにくさの観点を踏まえ、治療的人間関係のアセスメントを基盤として精神看護の実践を具体的に構想し、表現できる</p> <p>【関連するSBO】 1、2、3、4、5、6 【事前学修:30分】メンタルアセスメント・チェックシートに記載されている用語を確認し、理解が不十分な用語の意味を調べ、課題ワークシートに記載する(授業開始前までにWebClassに提出) 【事後学修:30分】学修要点シートに要点をまとめる (マルチメディア教室)</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師</p>
<p>5/26 火 1限</p>	<p>【授業内容】 社会のなかのストレスを活かした看護の展開 精神障害者が社会のなかでどのような「生きにくさ」や「ストレス」を抱えているのか、視聴覚教材を通して理解を深め、回復支援の在り方や精神保健上の課題について検討する。 ・精神障害者が抱える「生きにくさ」と「ストレス」についてを述べるができる ・ストレスの視点から、回復支援の在り方を述べるができる ・治療の場の構造ならびに文化による精神保健上の課題について自身の考えを述べるができる</p> <p>【関連するSBO】 1、3、4、5 【事前学修:60分】 キーワードについて調べて課題ワークシートに記載する(授業開始前までにWebClassに提出) (大堀記念講堂)</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師</p>
<p>5/26 火 2限</p>	<p>【授業内容】 社会のなかのストレスを活かした看護の展開 精神障害者が社会のなかでどのような「生きにくさ」や「ストレス」を抱えているのか、視聴覚教材を通して理解を深め、回復支援や社会参加を支える看護の役割や日本の精神保健上の課題について検討し、看護実践との関連を深める。 ・精神障害者が抱える「生きにくさ」と「ストレス」についてを述べるができる ・ストレスの視点から、回復支援や社会参加を支える看護師の役割を述べるができる ・治療の場の構造ならびに文化による日本における精神保健上の課題について自身の考えを深めることができる</p> <p>【関連するSBO】 1、3、4、5 【事後学修:30分】 学修要点シートに要点をまとめる (大堀記念講堂)</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師</p>
<p>6/18 木 1限</p>	<p>【授業内容】 精神疾患を持つ患者への看護と関わり② 事例を用いたグループワークにより、患者の背景、ストレス、生きにくさの観点を踏まえながら、学生自身の感情を活用した看護のかかわりについて探求する。グループワークの内容はICTの活用や発表などで、全体での共有を図る。 ・自身の感情を手がかりに、治療的人間関係を基盤としたかかわり方を検討できる ・患者の背景、ストレス、生きにくさの観点を踏まえながら、治療的人間関係のアセスメントを基盤として、精神看護の実践を具体的に構想し、表現できる</p> <p>【関連するSBO】 1、2、3、4、5、6 【事前学修:60分】 事例を確認して課題ワークシートに記載する(授業開始前までにWebClassに提出) (マルチメディア教室)</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師</p>

6/18 木 2限	<p>【授業内容】 精神疾患を持つ患者への看護と関わり② 事例を用いたグループワークにより、患者の背景、ストレス、生きにくさの観点を踏まえながら、学生自身の感情を活用した看護のかかわりについて探求する。グループワークの内容はICTの活用や発表などで、全体での共有を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の感情を手がかりに、治療的人間関係を基盤としたかかわり方を検討できる ・患者の背景、ストレス、生きにくさの観点を踏まえながら、治療的人間関係のアセスメントを基盤として、精神看護の実践を具体的に構想し、表現できる <p>【関連するSBO】 1、2、3、4、5、6 【事後学修:60分】 学修要点シートに要点をまとめる (マルチメディア教室)</p>	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師
-----------------	---	--

・教科書・参考書等

		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎 第6版	武井麻子 他	医学書院	2021
教	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開 第6版	武井麻子 他	医学書院	2021

・成績評価方法

<p>【総括的評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(多肢選択問題、記述問題)70%と課題30%の合計100%にて評価をする。 ・課題シートの評価については、ルーブリック評価とし、初回授業で提示する。 ・定期試験において、指定期日までに提出された「学修要点シート」は持ち込みを認めることとする。 <p>【形成的評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業終了時に「リアクションペーパー」の提出を求め、学修の成果を確認する。 ・授業時に習得度チェックを実施し、学修状況ならびに理解度を確認する。 								
DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1~8	1~6		70					70
1~8	2, 3, 5, 6			30				30
合計		0	70	30		0	0	100
〈備考〉								

・特記事項・その他

<p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題については、授業内で解説し、学生にフィードバックする。 ・授業時に実施する習得度チェックは、授業内もしくはWebClassで解答・解説を掲示する。 ・リアクションペーパーは、次回の授業もしくはWebClassを通して、学生にフィードバックする。 <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3): 専門分野 精神看護学</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各演習ではグループワークを実施し、他者に伝える力を養うとともに、意見の多様性を踏まえたコミュニケーション能力を養う。 ・ゲストスピーカーが参加する講義では、教員、実習病院指導者、訪問看護師、精神障害を抱える当事者からやその家族等からの体験談を基にグループワークを行ない、精神看護におけるケアの在り方について理解を促す。 ・スマートフォン等からICTの利用によるアンケートフォーム(CustomForm®)を通して、学生の意見の共有や理解度の確認を行う。 ・授業中に映写した資料は、可能な範囲でWebClassに掲示し、事後学修に活用できるようにする。 <p>【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神科における看護師の実務経験を有する教員、精神看護専門看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えながら行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義・演習	プロジェクター	1	講義用スライド・教材の投影
講義・演習	PC	1	講義用スライド投影
講義・演習	書画カメラ	1	講義用スライド・演習内容発表投影
演習	ビデオカメラ	1	ロールプレイ撮影